

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2000-126162 (P2000-126162A)
 【公開日】平成 12 年 5 月 9 日 (2000.5.9)
 【出願番号】特願 平 10-301391
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 6/00

G 0 3 B 42/02

G 0 6 T 1/00

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 Z

G 0 3 B 42/02 B

G 0 6 F 15/62 3 9 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

コントローラ 4 0 では、対とされた補正前と補正後の各 1 画像分の画像データを表示制御部 5 5 に供給することにより、図 1 1 A に示すように画像表示装置 5 6 の画面上に補正前の画像データに基づく放射線画像と補正後の画像データに基づく放射線画像を同時に表示することで、良好な放射線画像を得ることができるだけでなく画像欠陥の位置を確認することができる。なお、補正前の放射線画像と補正後の放射線画像を切り換えて表示すれば、放射線画像を大きく表示することもできる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

さらに、欠陥情報記憶領域 4 4 a に記憶されている情報を表示制御部 5 5 やコントローラ 4 0 に供給することにより、図 1 1 B に示すように画像表示装置 5 6 の画面上に補正後の画像データに基づく画像と欠陥画素の位置を示す表示を同時に表示しても、良好な放射線画像を得ることができるだけでなく画像欠陥の補正の効果も容易に確認することができる。なお、この場合にも、補正後の放射線画像や欠陥画素の位置を切り換えて表示すれば、放射線画像を大きく表示することができると共に、欠陥画素の位置を容易に確認できる。

。